



平成31年（2019年）3月6日

## 山形大学有機材料システム事業創出センターに海外ベンチャー企業誘致 ～ IoT関連ビジネスで地域活性化を目指す Yume Cloud Japan～

### 【本件のポイント】

- 山形大学がアメリカ・シリコンバレーに本社のある海外ベンチャー企業Yume Cloud Inc.を「有機材料システム事業創出センター」内に誘致したことにより、その日本法人が設立されました。
- Yume Cloud社は各種センサーの技術と大規模なワイヤレス技術を一体化したオリジナルモジュールをコア技術にビジネスを進めていますが、本格的事業につなげるために、山形大学とIoT関係での共同研究を実施します。
- 海外ベンチャーの開発拠点ができることで、地場の企業との連携やIoT関連ビジネスでの波及効果につなげて、米沢市や山形県に新たな雇用や産業分野が生まれる土壌を築いてまいります。

### 【概要】

山形大学は、海外ベンチャー企業である Yume Cloud Inc.（所在地：米国カリフォルニア州、CEO：吉田大輔）との共同研究の実施、IoT 関連ビジネス立ち上げを支援するために、その日本法人・株式会社 Yume Cloud Japan（所在地：山形県米沢市アルカディア、代表取締役：吉田大輔）を山形大学有機材料システム事業創出センター（YBSC）内に設立することに合意しました。本設立に際しては、Yume Cloud Inc.に創業支援プログラムを提供してきた株式会社ブロックチェーンハブ（所在地：東京都中央区、代表取締役：増田一之）の協力を得ました。

今後、当該日本法人は、IoT ソリューション関係での研究開発拠点として、関連する実用技術の開発、国内ビジネスの強化を行います。

既に山形大学と IoT 関連での共同研究（横山道央准教授、原田知親助教）に着手しており、より本格的な研究開発並びに商品化を行うために 日本法人を山形大学有機材料システム事業創出センター（YBSC）内に設立して、活動を推進していきます。

### 【背景】

山形大学は米沢市などと共同提案した文部科学省の地域科学技術実証拠点整備事業として、2018年6月、山形大学有機材料システム事業創出センター（略称：YBSC）を立ち上げました。山形大学が持つ技術案件や社会課題解決のための知見の有効活用、迅速な事業化、企業への技術移転の促進への貢献を通じて世界から必要とされるイノベーション創出の産業地域に変革させることを目的にしております。現在、YBSCには山形大学発ベンチャー2社が入居していますが、海外からの誘致は初めてです。今回は、世界で勝負をしている技術ベンチャー企業を取り込み、大学と共同研究を進めることにより、新たな技術の構築、新分野でのビジネスの創出、地場企業との連携による活性化を目指して、その相乗効果を期待するものです。

### 【Yume Cloud Inc.について】

Yume Cloud Inc.は2014年にアメリカで立ち上がったベンチャー企業で、センサー技術を応用したエンターテインメント用IoTソリューションの提供を事業の柱にしています。（<http://www.yume-cloud.com/>）

センサー技術と大規模なワイヤレス技術を一体化したオリジナルで開発品『GLOW IoT モジュール』を使ったソリューションをコアに、主にエンターテインメント向けを目指したビジネスを進めています。今後はこの技術の適用範囲も拡げていきます。この独自開発したモジュールには、各種センサー（マイクロフォン、加速度セン

サーなど)と無線機能が搭載、動きや音を検出して光や色に変換し、またデータの分析や活用が可能になります。数百個級のモジュールを扱えることで、今までにない多様な表現や演出を可能にしました。

経済産業省のベンチャー支援プログラム J-Startup (<https://www.j-startup.go.jp>) に採択され、2019年1月に米国ネバタ州で開催された CES (Consumer Electronics Show) では GLOW を使った新しい日本酒の楽しみ方を提案する『マスグラス』を展示しました。100個のマスグラスを BLE (Bluetooth Low Energy) と SMS (Short Message Service) を使って遠隔から一斉に操作するインタラクティブ (対話型、双方向型) なデモなども行い、大きな反響がありました。2019年3月米国テキサス州オースティンで開催されるテクノロジーの未来が体感できる祭典 SXSW (South by Southwest) にも出展予定です。

Yume Cloud Inc.は、株式会社ブロックチェーンハブの創業支援プログラムに参画しており、このプログラムを卒業する最初のベンチャー企業になります。ますます重要なコアテクノロジーであるブロックチェーン技術との連携に於いても有利なポジションにあり、既に構築されているネットワークによる技術の拡がりも期待できます。

## 【GLOWと概念イメージ図】



図：“GLOW”エンターテインメントIoTソリューション

GLOW で実現している技術は、単にエンターテインメントの分野だけでなく、他の分野にも応用して利用を広げていける技術です。センシングしたデータの獲得や API を介して AI スピーカーなど他の入力デバイスと接続するなどのインプット、モジュールを制御して光らせる、蓄積したデータの解析や可視化といったアウトプット、メッシュネットワーク活用により数百の GLOW モジュールを 1 台のスマートフォンで制御できるスケーラビリティ、コア技術が揃っているためです。出口を持つパートナーとの連携により、ソリューションの製品実装や社会実装を図ることでビジネスを安定化しつつ、大学連携のメリットを活かして、事業発展と雇用創出を目指していきます。

## 【共同研究】

山形大学との共同研究では、通信ネットワークにつながった GLOW モジュール群からクラウドに上がったデータの解析と活用についての研究を行います。また、データ解析後の出力パターン生成エンジンの開発、モジュール制御ソフトの開発環境の構築なども行います。

## 【新会社の概要】

社 名 : 株式会社 Yume Cloud Japan  
所在地 : 山形県米沢市 (山形大学有機材料システム事業創出センター内)  
代表取締役 : 吉田 大輔 (Yume Cloud Inc. CEO)

お問い合わせ

・ Yume Cloud について

株式会社 Yume Cloud Inc. 代表取締役 吉田 大輔

メール [davy.yoshida@yume-cloud.com](mailto:davy.yoshida@yume-cloud.com)

・ 有機材料システム事業創出センター について

有機材料システム事業創出センター コーディネーター 齋藤裕一

電話 0238-26-3025 メール [ysaito@yz.yamagata-u.ac.jp](mailto:ysaito@yz.yamagata-u.ac.jp)